

新型コロナウイルス感染症対策 その3(第2回定例会閉会后) 議会費の削減を市長に申し入れしました



申入書を手渡す加賀谷議長(中)、三浦副議長(左)と小谷野市長(右)

市議会では、政務活動費や委員会の行政視察の費用弁償、議長交際費など総額468万7千円を削減することを決め、6月23日に、加賀谷議長から小谷野市長に、新型コロナウイルス感染症の対策費用に充てるよう申入れをしました。

今後とも引き続き、市内経済の活性化や市民の皆さんの生活の不安を払拭するための、さらなる支援を求めています。

市議会の感染防止対策は……

3密「密集・密接・密閉」を避けるために、議場内やその周辺で感染防止対策を実施しています。



通路部分にも臨時の席を設けて、議員間の距離を空けています
後方の傍聴席の座席数は、通常の半数に減らしています



議場中央の登壇席には、前方にアクリル板を設置しています



本会議への執行部説明員の出席は最小限となるよう求めています



会議中も、本会議場の扉を開放し、密閉を避けています

新型コロナウイルス感染症対策 その1(第1回臨時会) 感染症対策の拡充を求める決議を可決しました

議員提出議案第2号

新型コロナウイルス感染症対策の拡充を求める決議

新型コロナウイルス感染症は、今日までわが国の安全、経済などあらゆるものに大きな打撃を加え、その影響は深刻であり、本市においても多くの事業者や市民が影響を受けている。

そのような中、市においては様々な対策を講じ、尽力されていることに敬意を表するものでありますが、新型コロナウイルスの早期終息が見込めない中、引き続き市民の命と暮らしを守るためにあらゆる支援を迅速に行うとともに、今後も安定的に自治体運営を行っていく必要があるため、下記のとおり決議する。

- 1 PCR検査をはじめ、医療、保健体制の充実、強化を図るためにあらゆる面から更なる支援を行うこと。
- 2 市民の暮らしを守るため、市として積極的な財政出動を行うとともに、市独自の支援策の更なる推進に努めること。
- 3 今年度の市の財政への影響を早急に調査し、予算執行に当たっては、情勢の変化を的確に捉え、不要となった事業を停止するとともに、不急の事業は中止や縮小を図り、コロナ関連対策費の確保に努めること。
- 4 臨時休校措置による影響を中長期的な視点で精査し、児童生徒の学習機会の保障と心身の健康保持を図る施策を推進すること。

新型コロナウイルス感染症対策 その2(第2回定例会) 政務活動費を削減する条例を可決しました

当初の予算額(令和2年度)	
謝礼金	15万円
費用弁償	302万6千円
特別旅費	34万4千円
議長交際費	40万円
政務活動費	528万円

新型コロナウイルス感染症の対策費用に充てるため、令和2年10月から3年3月末までの半期分の政務活動費を交付しないこととする条例「狭山市議会政務活動費の特例に関する条例」を議員提出議案で提案し、賛成多数で可決しました。これによる削減額は264万円となります。

その他の削減項目をあわせると次の表のとおりです。

謝礼金(研修費)を削減	5万円
費用弁償(行政視察費)を削減	162万6千円
特別旅費を削減	27万1千円
議長交際費を削減	10万円
政務活動費交付金を削減	264万円
削減総額	468万7千円